



※一般質問の内容は議員自身が9月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和5年9月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。

※部長名は、字数の関係上「部長」で統一して表記しています。



うすい ゆきこ  
**臼井 由紀子**  
(富岳会)

### 8月16日芝川地区で発生した渋滞について

**問** 当局が渋滞を知ったのはいつ、どのような方法で知ったか。

**部長** 運転している方や市民と思われる方から16日夕方頃、問合せの電話が数件あったことで渋滞が発生していることを確認。

**問** 公共施設の職員や住民が交通整理やトイレを貸していたようだが、具体的な活動を把握していたか。また、トイレ対策はいかがか。

**部長** 後日聞き取りをした際にそのような事実があった事は把握している。トイレの問題は難しいところで災害時に車で過ごす方も多くなるかと思うので、渋滞対策の一つとしても携帯トイレを車へ積んでおくことも大切であり、今後防災対策の一つとして防災グッズを車に入れておくことの啓発の必要を伝えていく。

**市長** 私も車の中には必ず携帯トイレを入れてあり、実際に使った経験もある。今後、芝川の大渋滞の例から、できるだけ非常用トイレを持ち歩くよう広報等で伝えたい。こうした質問を通して、危機管理はもちろん、優しさ、思いやり、助け合うことについての提言をいただいた。

**副市長** 新東名インターは山間部にある場所が多い、新東名で何か起きた場合はこういうことが起きる、そういう時に渋滞についての解決が行政的手段として難しい。しかし、何ができるかという研究の材料とさせていただきます。

**問** 渋滞に関して今後、住民と話し合いをする予定はあるか。

**部長** 災害時の避難方法が千差万別なので渋滞に関して持つ予定はないが、個別に自治会単位での出前講座などで対応をすることができる。

**意見** 今回の反省を踏まえ、住民からの通報方法や周知などをマニュアル化し、住民との情報共有をしっかりと行い、安心安全なまち、芝川地区でありたい。



すずき ひろむ  
**鈴木 弘**  
(至誠)

### 市民の幸福度を高めるまちづくりの指標、ウェルビーイング指標について

**問** デジタル田園都市国家構想の実現に向け、ウェルビーイング指標というものが示されている。市はこの指標をどう捉えているか伺う。

**部長** 人々の価値観やライフスタイルが多様化する中、市民アンケートの調査結果を指標化した主観指標や、統計データを指標化し、分野間の比較に用いる客観指標の双方を活用して、市民の視点から、暮らしやすさや幸福度を数値化し、可視化することができる指標。政策分野の強み、弱みの特定が可能となり、市民の幸福度の状況がこれまで以上に把握しやすくなるなど、市政運営にも有効なものになると考える。

**問** 市はこの指標を活用して政策に生かす考えはあるか伺う。

**部長** ウェルビーイング指標を次期総合計画の成果指標や総合戦略のKPIなどにも積極的に活用していきたい。

### 観光事業について

**問** クレジットカードの購買データを観光行政に役立てている自治体が増えているという。富士宮市においても活用したほうがよいと考えるがいかがか伺う。

**部長** どういったデータをどのように活用していくことが有効なのか、近隣市町や観光協会などの活用事例を参考に研究していきたい。

**問** 富士宮市でもシティプロモーションなど首都圏にアピールしているが、そういったデータを活用し分析すればその成果が分かり、次の施策を打ちやすくなるかと考えるがいかがか。

**部長** 戦略的な計画に活用するためのデータは有料になる。そのデータをどのように生かして、どういった事業に使っていくのかということこそをまず精査してから取り組まなければいけないと感じている。